

第62回理事会・第32回評議員会 報告書

(財) おかやま環境ネットワーク

○日時：2011年10月8日(土) 10:00~11:40

○出席：理事会=14名(内委任5名)、評議員会=14名(内委任5名)、監事=2名

○議長：理事会=榎、評議員会=奥田 ○議事録署名人：理事会=秋山、山本、評議員会=小橋、日野

〔報告事項〕

1. 事業報告など以下の報告がありました。

- ①. 8月理事会で新しく評議員に選任された平林明成さん(倉敷医療生活協同組合職員)の紹介がありました。
- ②. 運営委員会報告：今後の「震災からの学習・交流会」「環境講座」「ネットワークのつどい」のあり方や、公益法人制度対応について検討しました。
- ③. 自然環境部会報告：第三回おかやま環境シンポジウム運営について検討し、各自の活動を交流しました。
- ④. 第2回震災からの学習・交流会開催報告：奥田節夫氏を講師に『自然災害の実態とその対策』をテーマに開催しました。岡山における地震、津波災害の記録や今後の予測、自然災害対策などについてお話があり、会場定数一杯の参加がありました。
- ⑤. ホタル団体交流会報告：第9回おかやまホタルフォーラム運営について検討し、今年の飛翔状況の特徴や各団体の活動を交流しました。
- ⑥. 「STOP 温暖化くらしき 2011」の後援申請について、規程に沿い理事長の承認を得て承諾したことが報告されました。
- ⑦. 諸報告：基本財産償還対応、エコポイント寄附実績、岡山県消費者大会案内、主要日程について報告があり、確認されました。2012年度のネットワークのつどい(維持会員総会)は2012年6月30日(土)に開催します。

2. 決算・会費納入状況についての報告がありました。

9月度末決算状況として、当期収入は予算比116.1%、前年比108.1%となり、これはエコポイント寄附が想定より多かったことなどによるものです。当期支出は予算比90.3%、前年比135.2%となっています。支出予算を下回っているのは、事業運営費が見込みより減額できたこと、管理費がコントロールできていることなどによるもので、前年を超過しているのは、新規事業の実施や事業参加者が想定以上あったこと、開催月のずれなどによるものです。当期収支差額は847,608円となりました。

9月末会費納入状況は、個人101(前年同期:88会員)、団体38(同:44)、法人50(同:57)、合計189会員(同:189)と、合計では前年と同数となっています。今年度に入り個人24、法人3の合計27会員の加入がありましたが、景気動向による法人の退会や、高齢化による団体の活動停止などの連絡が寄せられています。

〔協議・承認事項〕

1. 中間監査結果について、上期の事業概況、決算、会計諸帳簿・現金・預金・領収書綴り・支払い明細綴りなどを点検し、適法かつ正確である旨の報告があり、出席評議員・理事全員一致で承認されました。
2. 公益財団法人移行申請までのスケジュール案が承認されました。
3. 定款変更案、諸規程案(理事会運営規則案、寄附金等取扱規程案、理事職務権限規程案、資産運用規程案、事務局規程案、維持会員に関する規程案)について検討しました。意見があれば11月11日までに文書で事務局に提出することを確認しました。最終的には2月理事会・評議員会にて承認する予定です。
4. 新公益法人移行後の会議等のスケジュール案が承認されました。評議員会は6月を目途に年1回開催し、必要があれば臨時評議員会を開催します。また、通常理事会は4月と2月に開催し、他に臨時理事会として年3回程度開催し、監査は年2回実施します。
5. 評議員選定委員会の委員選任について、提案通り出席理事・評議員全員一致で5名の委員選任が承認されました。外部委員として、阪田祐作氏・岡山大学研究推進産学官連携機構研究推進本部参与と井上堅太郎氏・岡山理科大学総合情報学部教授を、現評議員枠委員として伊藤國彦氏・岡山県立大学名誉教授と檜山伸吾氏・元岡山放送(株)を選任しました(残り1名は事務局職員)。
6. 第3回自然災害からの学習・交流会開催要項が承認されました。日程については、講師と調整の上決定します。これまで震災からの学習・交流会としていた名称を「自然災害からの学習・交流会」とします。

以上